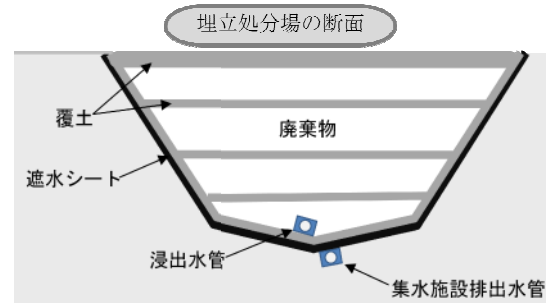


3号埋立地における電気伝導率の変動について

平成23年10月6日
埼玉県環境整備センター

環境整備センターでは、埋立地周辺から遮水シートの下の水を集めて排水しています。これは、埋立処分場が浮き上がるのを防ぐためです。

排水の際に、電気の通し易さを示す電気伝導率を測定しています。この電気伝導率は水に土や鉄分、塩分などが混ざると電気を通し易くなる性質を利用したもので、物質の混入の度合いがわかります。



1 電気伝導率の変動

9月初旬の台風12号通過の後、現在埋立てを行っている3号埋立地の遮水シート下側の水の電気伝導率が通常値の約2倍に上がりました。

9月14日 1.1mS/cm (通常は0.5mS/cm程度)

2 応急的措置

電気伝導率の変動は、埋立地施設の不具合のほか、外部からの混入物などさまざまな要因が考えられることから、次の対策をとりました。

- (1) 遮水シート下側の水を水処理施設へ切り替え、浄化した後に放流しています。
- (2) 状況を公表しました。
- (3) 遮水シート下側の水、河川水、観測井戸の水を調べました。

3 調査の結果

(1) 9月15日には、既に埋立てを終えた2号及び5号埋立地でも遮水シート下側の水の電気伝導率が高くなっていることが認められました。

	2号埋立地	3号埋立地	5号埋立地
電気伝導率 (mS/cm)	3.8	0.89	1.0

(2) 電気伝導率に変動がみられたことから、遮水シート下側の水、河川水、観測井戸の水を調べたところ有害物質は基準以下で、外部への影響は認められませんでした。

4 対応

場内のいくつかの地点で電気伝導率が上昇しているため、ボーリング調査による水質、地質の調査や肥料等の使用状況の調査を行い、原因の究明に努めております。

原因が判明しましたら、あらためてお知らせします。

御心配をおかけして申し訳ありません。